

黒いガラス

ガラスの力。unveil。
 ガラスだらけの渋谷は透け透けだ。
 みんな自分のことを unveil して見せたがる。
 白いガラスにはその自己主張が映り込み、
 時代や流行に応じてその景色は移り変わる。

けど、そんな渋谷を支えている川は veil されている。
 渋谷の谷に流れ注ぐ雨水を受け止めている渋谷川。
 実際は鉄分を多く含んでいるために少し赤い色しているらしい。
 それが渋谷の渋い、の由来でもある。

都市を支えているもの。の上に作られるポケットパーク。

ガラスが渋谷でまた異なるものを unveil する。
 渋谷川沿いの各場所に設けられたポケットパークの地面は
 アーチ型の断面をし、歪みのある強化ガラスで出来ている。

その上に乗っかると突然深くて暗い闇の上に立たされる。
 川の流れをはっきり見ることは出来ないし、音を聞くことは出来ないだろう。
 しかし、その上に足を踏み入ると、
 今まで歩いていた所から“ふっと”別世界に遷る。

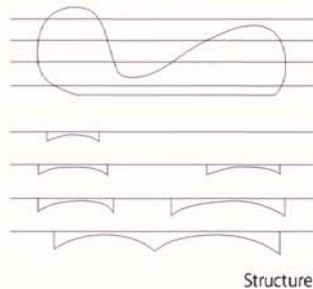
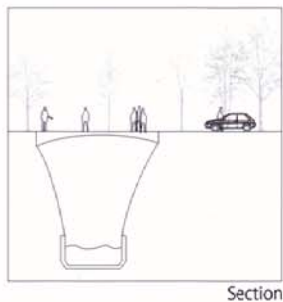
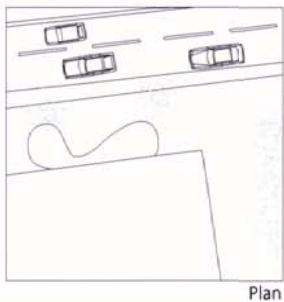
足下にある真つ暗闇。しかし少しの流れ、少しの動き、少し揺らめき、
 少しの光のきらめきが歪みによって増幅される黒いガラスのその上の空間。

場所によって深さも異なれば、速さも異なる。
 雨が降った時はまた少し雰囲気が変わる。

暑い夏の日には他より少し冷たい場所となり、
 寒い冬の日には他より少し暖かい場所になる。

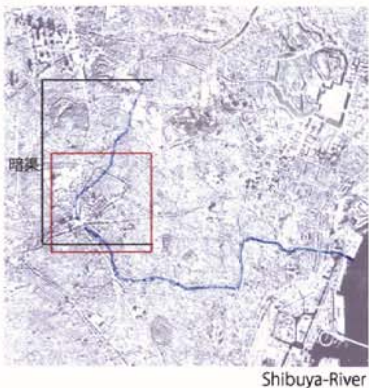
そんな都市の中のポケットパークを提案します。

Structure

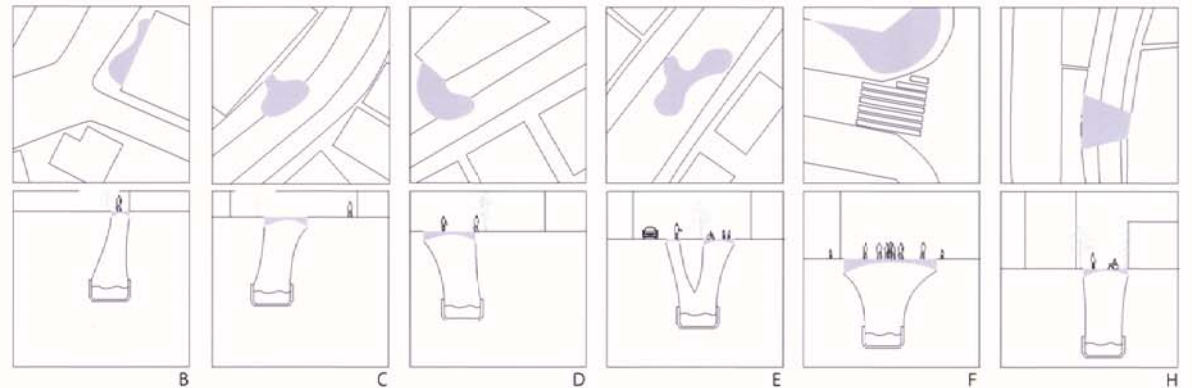


White Glass

Site



Pocket Park - Plan & Section



Pocket Park - Perspective

